

# F A X 送 付 状



JAPAN MONKEY CENTRE

送信先 報道各位  
送信枚数 本紙を含めて 3枚  
送信日 2019年 7月 30日

## フランス人写真家と動物行動学者による日本のサルの写真展！ 写真展「猿 SARU Singes du Japon」開催のお知らせ

盛夏の候、貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびフランスの写真家と動物行動学者らによるプロジェクトで、日本とフランスの両国で写真展が開催されることになりました。「猿 SARU Singes du Japon」と題されたこの写真展は、日本では東京恵比寿の日仏会館に続いての開催です。先行して出版された写真集の中から秀作22点を展示します。

プロジェクトメンバーの一人、動物行動学者のセドリック・スュール氏は京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院の国際連携研究者でもあります。写真家のアレクサンドル・ボンヌフォワ氏は下北半島から屋久島まで日本中7カ所でニホンザルを撮影されました。

ヨーロッパにも北アメリカにも野生のサルは生息していませんから、いわゆる“先進国”でふつうにくらしているサルは、欧米から見れば稀有な存在です。豪雪を生き抜き、時には温泉にも入るその姿は、日本の豊かな自然や四季とも重なり「スノーモンキー」として海外からの注目を集めています。サルのいない国、フランスから見たサルたちの姿を通して、身近なサルの魅力を再発見していただければ幸いです。貴メディアにて、ぜひご紹介ください。

写真展概要：

会期：2019年8月1日～2020年1月27日

場所：日本モンキーセンター内 無料休憩所 ※開園時間中、入園料のみご覧いただけます

主催：（公財）日本モンキーセンター、京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

協力：Editions Issekinicho, University of Strasbourg, Depuis 80 ans nos connaissances battissent de nouveaux mondes, Investissements d'avenir, Institut Pluridisciplinaire Hubert CURIE

プロジェクトメンバー：

Alexandre Bonnefoy アレクサンドル・ボンヌフォワ（写真家）

Marie Pele マリ・プレ（動物行動学者）

Cedric Sueur セドリック・スュール（動物行動学者）

展示物：脇野沢、地獄谷、嵐山、小豆島、幸島、屋久島で撮影されたサルの写真、計22点

本件に関するお問い合わせ先：

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26  
TEL：0568-61-2327 FAX：0568-62-6823 メール：info@j-monkey.jp  
問い合わせ先：学術部 赤見、北原、高野、江藤、阪倉、田和、新宅

代表的な作品



撮影地：地獄谷 季節：冬



撮影地：嵐山 季節：秋



撮影地：屋久島 季節：秋



撮影地：小豆島 季節：冬



撮影地：地獄谷 季節：秋

推薦のコメント：

女優の竹下景子さんと、ノーベル物理学賞受賞者である梶田隆章先生が、写真展へ推薦のコメントをお寄せくださいました。ご紹介いたします。



2019年7月21日 写真展で展示される予定の作品の前にて

女優、日本モンキーセンター親善大使 竹下景子さんより (写真左手)

「北限のサルとして、雪のなかでおたがいに身をよせあっているのが印象的でした。すんでいる場所や季節によって、少しずつちがった姿がうつしだされていますね。写真をとおして、ニホンザルの個性が感じられました。」

東京大学卓越教授・特別荣誉教授、東京大学宇宙線研究所長 梶田隆章先生より (写真右手)

「職場の近くにも野生のニホンザルがくらしています。日本人にとっては身近な存在ですが、海外から興味をもってニホンザルを見にきて、写真展を開催するのがおもしろいと思いました。」